



まいいた

令和3年度

5月号

令和3年4月30日

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/maita/>

とても元気な蒔田っ子

校長 高松 一彦

ある日の中休みの始まるの時間、校長室で仕事をしていると、「校長先生。」と校舎の外から子どもたちの元気な声が聞こえてきました。「おやっ、何だろう。子どもたちに呼ばれたのかな。」と思い、その声が聞こえてきた方に向かってみました。校長室のすぐ外には夢の池があり、その池を見ている子どもたちが声の主であることが分かりました。「校長先生のこと呼んだ。」とその子どもたちに聞いてみると、「違うよ、こっちの校長先生を呼んだんだよ。」と話してくれました。詳しく話を聞いてみると、「この池にいる、一番大きな鯉が校長先生っていうんだ。」「校長先生は、顔の横に、大きなほくろがあるんだよ。」と丁寧に教えてくれました。蒔田小学校には、鯉の校長先生がいることが分かり、微笑ましく思いました。



「夢の池」をのぞく子どもたち



大人気のジャングルジム

校舎わきの階段を上り校庭に出てみると、とてもたくさん子どもたちが、所狭しと走り回っています。ジャングルジムや雲梯で遊ぶ児童もいます。「見て見て、私、こんなに雲梯ができるようになったんだ。」と低学年の児童が嬉しそうに話しかけてくれました。中には、「何で校長先生が校庭にいるの。」と不思議そうな顔をしている子もいます。遊んでいる1年生に、「どう、学校にはもう慣れた。」と聞いてみると、「うん、慣れた。楽しいよ。」とにっこり笑顔で話してくれました。4月に入学したばかりの1年生も、この1か月でかなり小学校の生活に

慣れてきたようです。

校庭の真ん中に目を移すと、おもいきりボール遊びをする、高学年の姿もありました。投げるボールのあまりの速さに目を見張りました。「とても速いボールを投げるね。すごいね。」と話しかけると、嬉しいような、ちょっと恥ずかしいような表情を見せてくれました。

蒔田小にきて、1か月が経ちました。日々の学校生活の中で、子どもたちのとても元気な姿、あるいは、明るく元気に挨拶をする姿がとても心に残っています。学校教育目標の中にある「元気いっぱい 蒔田っ子」の姿を見ることができて、嬉しい限りです。



素早いボールを投げる児童

さて、いよいよゴールデンウィークに入ります。まん延防止等重点措置の適用期間中のため、できることには限りがあるかと思えます。その中でも体調に気を付けながら充実した日々を過ごし、また休み明けに元気に登校してきてくれることを心待ちにしています。